

Ⅶ 農薬安全使用推進特別対策事業

1) 農薬安全使用技術の実証・展示

① モデル地区の設置

モデル地区名	モデル地区農家数		対象作物等					農薬安全 使用技 術名	備考	
	うち事業 対象作物 生産家 数	戸	作物名	栽培 様式	作付 面積	栽培 時期	主な発生 病虫害			主な防除 農薬
(国見町神代) 下古賀いちご 栽培組合	戸	戸			ha	9～ 5月	灰色かび病 うどんこ病	トリフルミ ゾール イプロジオン プロシドン	くん煙法 による省 力防除	
() 下古賀トマト 栽培組合	50	8	トマト	促成	1.0	11～ 5月	疫病 灰色かび病 オンシツ コナジラミ	TPN スルフェン 酸系 DMTP イプロジオン ベノミル	常温煙霧、 くん煙、FD 法による 省力防除、 及びロボット スプレーの 効率	

② 農薬安全使用技術器材の導入 (なし)

③ 調査の実施

モデル地区名	調査項目	調査内容	調査時期	調査者	備考
下古賀いちご 栽培組合	省力防除の防除効果、農 薬安全度等の実証	農薬残留量、付着量、散 布者被ばく量、効果等	2～3月	病害虫防除所 総合農林試験場	
下古賀トマト 栽培組合	同 上	同 上	1～3月	同 上	

④ 調査用機器の整備 (なし)

⑤ 講習会の開催

開催場所	開催時期	員数	講習項目	備考
国見町	11月	30人	省力防除計画指導、農薬安全使用基準の 意義等	

2) 農薬安全使用の強化

① 指導地区の設置

指導地区名	指導地区農家数		重点指導農家数	農薬安全使用強化指導員設置数	対象作物等				
	うち事業対象作物生産農家数	戸			作物名	栽培様式	作付面積	栽培時期	主な発生病害虫
(国見町) 南高農協 いちご部会	戸	戸	戸	人	いちご	促成	ha 50	9~5月	灰色かび病 うどんこ病
510	240	10	3						
(〃) 南高農協 トマト部会					トマト	促成	9	11~5月	疫病 灰色かび病 オンシツコナジラミ
		71	10	3					

対象作物等	残留調査		農薬安全使用強化指導員		備考
	主な防除農薬	対象農薬	試料数	氏名	
トリフルミゾール イプロジオン プロシミドン	トリフルミゾール イプロジオン プロシミドン	30	本田 嘉文 藤山 博孝 中村 五良	農協 " 農業	
TPN チオファネートメチル DMTP イプロジオン ペノミル	TPN チオファネートメチル DMTP イプロジオン ペノミル	50	前田 一美 市田 靖彦 河内 敏隆	農協 " 農業	

② 農薬残留調査機器の設置 (なし)

③ 診断地区の設置 (なし)

3) 農薬安全使用の推進

資料名	主たる内容	配布対象者	配布部数	備考
いちご病害虫の省力防除法 トマト病害虫の省力防除法	主要病害虫の防除対策 "	関係農家 〃 農協 〃 普及所 等	部 350	

4) 事業実施の成果、問題点及び対策

項目	成果	問題点	対策	備考
農薬安全使用	危害、残留防止意識が向上した。	不十分である。	啓蒙指導の継続。	
防除の省力化	省力度合が認識された。	常温煙霧法登録農薬が少い。 くん煙剤薬価が高い。	登録促進。	

新散布法を用いた一貫散布体系

作物名：いちご

	9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			主要指標・その他			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
生育ステージ	<p>定植 Δ ————— × ————— x</p> <p style="text-align: center;">収 穫 期</p>																								モデル地区：国見町 神代下古賀			
対象病害虫	うどんこ病			アブラムシ類			ハダニ類			うどんこ病			ハダニ類			う灰色どんかび病			うどんこ病			う灰色かび病			う灰色かび病			作型：促成栽培 (無加温)
代表品種	とよのか																								代表品種：とよのか			
10a当り栽植株(本)数	7.000株																								10a当り栽植株(本)数：7.000株			
その他	3月以降ハウスのサイドを開放																								その他：3月以降ハウスのサイドを開放			
新技術	くん煙剤を組み込んだ防除体系																								新技術：くん煙剤を組み込んだ防除体系			
慣行散布体系	現地慣行防除			—————→			—————→			—————→			—————→			プロシミドン 2000 ×			トリフルミゾール 3000~5000 ×			イプロジオン 1500 ×						
新散布体系	慣行散布と同一			—————→			—————→			—————→			—————→			プロシミドン 50g/830㎡			トリフルミゾール 50g/400㎡			イプロジオン 50g/200㎡						

新散布方法を用いた一貫散布体系

作物名：トマト

	11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月			主要指標・その他
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
生育ステージ	定植 Δ ————— × ————— 収穫期 ————— ×																					モデル地区：国見町 神代下古賀
対象病害虫	アブラムシ類			ラミオンシッコナジ			疫かび病 灰色かび病			ラミオンシッコナジ			疫かび病 灰色かび病			疫かび病 灰色かび病			灰色かび病			代表品種：ほまれ114
慣行散布体系	現地慣行防除			→			スルフェン酸系 \otimes × 600			DMTP \otimes × 1000			イプロジオン \otimes × 1500			TPN \otimes × 700			ベノミル \otimes × 2500			10a当り栽植株(本)数：3,000本
新散布体系	慣行散布と同一			→			(ロボット) スルフェン酸系 × 600			DMTP \otimes 500g / 10a			イプロジオン \otimes 200g / 5ℓ / 10a			TPN \otimes 100g / 300m ²			ベノミル \otimes 150g / 5ℓ / 10a			その他：3月以降ハウスのサイドを開放する。(昼間)
																						新技術：常温煙霧、くん煙、FD法の組み合わせによる省力、防除体系。及びロボットスプレーの効率